

# 議会 だより

鳴門市  
NARUTO CITY

発行／鳴門市議会  
編集／議会広報委員会  
発刊／2014年(平成26年)12月1日  
<http://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>

## 目次

第3回定例会の主な審査状況 人事案件	②
第3回定例会の提出議案と議決結果 請願の処理	③
委員会審査から	④
一般質問	⑤～⑪
次の定例会の開催予定 議会広報番組のご案内	⑪
平成25年度決算審査	⑫～⑮
議会活動、市民の広場、編集を終えて	⑯

～鳴門の女性はとて元気です～

10月30日(木)、市民会館で第17回 鳴門市婦人連合会  
大運動会が開催されました。

当日は約360名が参加し、玉入れのほか「火事はおまかせ」「カローリング風」など14の種目に汗を流しながら親睦を深め、スポーツの秋を楽しみました。

(表紙写真を募集しています。詳しくは最終面へ)

No. 89

## 第3回定例会の主な審査状況

### 9月17日(水) 第3回定例会開会／予算決算委員会

- 市長より市政についての所信が表明され、平成26年度補正予算案など議案19件、報告2件が提出されました。
- 補正予算に関する議案6件を予算決算委員会に付託しました。
- 本会議散会后、予算決算委員会を開催し、付託された議案6件の説明を受け、質疑を行いました。



### 9月24日(水) 一般質問

- 5会派による代表質問を行いました。

### 9月25日(木) 一般質問

- 議員4名による個人質問を行いました。

### 9月26日(金) 一般質問

- 議員2名による個人質問を行いました。
- 議案13件、請願2件をそれぞれ所管の常任委員会に付託しました。

### 9月29日(月) 総務文教委員会 予算決算委員会第1分科会

- 委員会では、付託された議案6件および請願2件について審査の結果、議案6件はいずれも可決、請願は1件については採択、もう1件については継続審査とすべきと決しました。
- 報告1件について担当課より説明を受けました。
- その他、鳴門市消防団のあり方検討会について説明を受けました。
- 分科会では、企画総務部、消防本部、教育委員会の補正予算案について審査しました。

### 10月1日(水) 生活福祉委員会 予算決算委員会第2分科会

- 委員会では、付託された議案5件について審査の結果、いずれも可決すべきと決しました。
- 報告1件について担当課より説明を受けました。
- その他、鳴門市放置自転車等防止条例素案、鳴門市男女共同参画推進条例(仮称)素案のパブリックコメントについて説明を受けました。
- 分科会では、市民環境部および健康福祉部の補正予算案について審査しました。

### 10月2日(木) 産業建設委員会 予算決算委員会第3分科会

- 委員会では、付託された議案2件について審査の結果、いずれも可決すべきと決しました。
- 報告1件について担当課より説明を受けました。
- 分科会では、経済建設部および企業局の補正予算案について審査しました。

### 10月7日(火) 予算決算委員会

- 付託された議案6件について各分科会主査の報告を受けた後、採決の結果、補正予算に関する議案6件はいずれも可決すべきと決しました。

### 10月9日(木) 第3回定例会閉会

- 第3回定例会に提案されたすべての議案について各常任委員長の報告を受けた後、討論があり、その後、採決を行い、補正予算に関する議案6件、その他の議案13件はいずれも可決、請願1件は採択と決しました。
- 市長より、教育委員会委員、公平委員会委員および人権擁護委員にかかる人事案件3件が提出され、いずれも同意しました。
- 議会運営委員会より委員会条例の改正案1件が提出され、可決しました。
- 平成25年度各会計歳入歳出決算の認定に関する議案14件および報告2件が追加提案され、議案については予算決算委員会に付託し、閉会中の継続審査としました。
- 選挙管理委員および同補充員の選挙を行い、それぞれ4名を選挙しました。

## 人事案件

## 第3回定例会

### ●教育委員会委員

こまつ みほ  
小松 美穂 氏(撫養町)

### ●公平委員会委員

はまざき もとよし  
濱崎 元善 氏(撫養町)

### ●人権擁護委員

みほ みやこ  
美保 雅子 氏(鳴門町)

### ●選挙管理委員

たなか のぶひろ  
田中 伸廣 氏(撫養町)

きたの たかいち  
北野 隆一 氏(鳴門町)

よしだ ひろむ  
吉田 擴 氏(瀬戸町)

かなざわ ひろこ  
金澤 博子 氏(大津町)

### ●選挙管理委員補充員

さかきもと しゅんぞう  
榎本 春造 氏(北灘町)

よこがわ としひこ  
横川 俊彦 氏(撫養町)

のぶもと よしのり  
延本 義則 氏(里浦町)

もりきた ゆり  
森北 由里 氏(大麻町)

## 《 第 3 回定例会の提出議案と議決結果 》

議案番号	案 件	議決結果	所管の 委員会
議案第54号	平成26年度鳴門市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	予算決算
議案第55号	平成26年度鳴門市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第56号	平成26年度鳴門市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		
議案第57号	平成26年度鳴門市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第58号	平成26年度鳴門市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第59号	平成26年度鳴門市水道事業会計補正予算（第1号）		
議案第60号	鳴門市税賦課徴収条例の一部改正について	原案可決	総務文教
議案第61号	鳴門市附属機関設置条例の一部改正について		
議案第69号	工事請負契約の締結について（旧鳥居記念博物館耐震改修工事のうち建築工事）		
議案第70号	工事請負契約の締結について（消防救急デジタル無線整備工事）		
議案第71号	工事請負契約の締結について（鳴門市第一中学校校舎改築工事（1期）のうち建築工事）		
議案第72号	工事請負契約の締結について（鳴門市第一中学校校舎改築工事（1期）のうち電気工事）		
議案第62号	鳴門市重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例の一部改正について	原案可決	生活福祉
議案第63号	次代の社会を担う子どもの健全な育成を図るための次世代育成支援対策推進法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について		
議案第64号	鳴門市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について		
議案第65号	鳴門市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について		
議案第66号	鳴門市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について		
議案第67号	鳴門市営住宅条例の一部改正について		
議案第68号	鳴門市中小企業振興基本条例策定審議会条例の制定について	原案可決	産業建設
報告第9号	鳴門市観光コンベンション株式会社の経営状況について	報 告	産業建設
報告第10号	専決処分について（損害賠償の額の決定）	報 告	総務文教 生活福祉
報告第11号	平成25年度決算に基づく鳴門市健全化判断比率について	報 告	予算決算
報告第12号	平成25年度決算に基づく鳴門市資金不足比率について		
発議第1号	鳴門市議会委員会条例の一部改正について	原案可決	
同意第3号	教育委員会委員の任命について	同 意	
同意第4号	公平委員会委員の選任について	同 意	
諮問第2号	人権擁護委員の推薦について	同 意	
選 第1号	選挙管理委員の選挙について	選 挙	
選 第2号	選挙管理委員補充員の選挙について		

### 請願の処理

請願番号	案 件	審査結果	所管の 委員会
請願第6号	公共施設等へのLPガス設備の導入に関する請願書	採 択	総務文教

※「請願第5号 消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願書」については国の動向が定まっていないとの意見から、9月29日に開催した総務文教委員会において、継続審査となっています。

# 委員会審査から

## 総務文教委員会

### ●議案第60号 鳴門市税賦課徴収条例の一部改正について

〔説明〕平成26年度の税制改正により、軽自動車税の税率が引き上げられたこと、並びにこれまで一律に定められていた固定資産税の軽減率について、地方自治体が自主的に判断し、条例で決定できる地方税の特例措置である、「わがまち特例」の対象となる施設が追加されたことから、所要の改正を行うもの。

〔質疑〕鳴門市は、超過税率を適用しているので県内の他団体より軽自動車税が高いが、今後はどうなるのか。

〔回答〕原動機付自転車、軽二輪、小型二輪、小型特殊自動車及び排気量660cc以下の軽自動車の税率について、これまで超過税率を適用していた。この度の軽自動車税の改正に伴い、激変緩和の観点から標準税率を適用するとともに、軽自動車のグリーン化を進める観点から、新規検査から13年を経過した3輪以上の軽自動車については平成28年度分から重課を適用する。

〔質疑〕軽自動車税の税率改正に伴う市税収への影響額について。また、市民への周知方法は。

〔回答〕現時点では、平成27年度で497万円程度の増収見込み。周知については、今年の11月頃と来年3月頃の2回、広報や通知等による周知を考えている。



この議案が可決されたことにより、平成27年4月1日以降登録の軽自動車の税率の引き上げへの緩和措置を行い、超過税率を適用し高かった税額は県内の他市町と同じになります。

### ●請願第6号 公共施設等へのLPガス設備の導入に関する請願書

〔質疑〕請願にあるLPガス機器等の設備を設置しなければ、協会の協力は難しいのか。

〔回答〕災害対策を検討する際にLPガスの特性を認識した上で検討に加えてほしいというのが、この請願の趣旨である。

## 生活福祉委員会

### ●議案第64号 鳴門市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

〔説明〕児童福祉法の改正により、放課後児童クラブの開所時間、児童の集団の規模、職員数等の設備や運営の基準を定めるため条例を制定するもの。

〔質疑〕条例制定により児童クラブの職員の給与や福利厚生などについて、改善されるのか。

〔回答〕今でも委託料の中で、人件費に関わる部分について算段しているが、児童クラブの運営方針によっても運営費の使途が変わってくる。



この議案が可決されたことにより、サービス拡充のため、将来的には1つの放課後児童クラブあたりの児童数が現在より少なく設定されるなど運営の基準が変更されます。

### ●議案第65号 鳴門市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

〔説明〕家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業を行うにあたっての、保育室等の面積や必要な職員数等の設備や運営の基準を定めるため条例を制定するもの。

〔質疑〕市の認可を受けなければ、既に事業を行っている事業者については現状のとおり事業運営を行ってもよいのか。

〔回答〕地域型保育事業として位置づけられるためには、鳴門市の認可基準を満たす必要があるが、移行しないと選択した場合は、今までと同様に運営することはできる。

## 産業建設委員会

### ●議案第68号 鳴門市中小企業振興基本条例策定審議会条例の制定について

〔説明〕地域産業の中心的役割を担う中小企業の振興に関する基本的事項を定める条例の策定に当たり、必要な事項を調査審議するため、附属機関として審議会を設置するもの。

〔要望〕審議会委員の選定については、中小企業の中でも、実際に、後継者問題を含めさまざまな問題を抱えている方など、現実的な意見を出せる人を選定し、意見を汲み上げてほしい。

〔回答〕業種を問わず、できる限り幅広い意見が得られるような人材の選定を検討していきたい。

## 予算決算委員会

### ●議案第54号 平成26年度鳴門市一般会計補正予算（第2号）

〔質疑〕旧鳥居記念博物館の土地取得に至った経緯は。

〔回答〕施設を建設したときに結んだ契約の流れが今に引き継がれてきたが、今後において市が主体となり施設耐震化を進めていく中で、個人の土地に市の施設が建つ現在の状態は望ましくないことから、現在の所有者と協議した結果、市が購入することになった。

〔質疑〕軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業補助金について何件の利用を想定しているのか。

〔回答〕この補助金は、身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度の難聴児の言語習得等の向上に資するために補聴器購入費用を助成するものであり、県の補助金額の範囲内で5件を想定している。

〔質疑〕鳴門駅観光案内所を撤去した跡地の利用計画は。

〔回答〕現時点では具体的な利用方法は確定していないが、自転車の利用者の利便性も考えながら、人が集まれるスペースとするなど、鳴門駅利用者の利便性や活性化を考え、JRとも協議しながら進めていきたい。

# 一般質問

## 代表質問

### ●東谷 伸治(会派 郷土)

#### 1. 市長の政治姿勢について

(1) 競艇事業について

#### 2. 教育行政について

- (1) 教育環境の整備について
- (2) 全国学力テストの公開について
- (3) 英語教育・道徳教育について

### ●秋岡 芳郎(会派 創心クラブ)

#### 1. 人口減対策における市長の政治姿勢について

- (1) 縣市協調行政について
- (2) 危機管理体制について



### ●谷崎 徹(会派 有志会)

#### 1. 市民の安心・安全について

- (1) 防災対策について
- (2) 空き家対策について
- (3) 国土調査について



### ●圃山 俊作(会派 志)

#### 1. 福祉行政について

- (1) 子ども・子育て支援制度について
- (2) 高齢者支援について

#### 2. 教育行政について

- (1) 教育振興計画の策定について

#### 3. 農業行政について

- (1) 地場産品のブランド化の推進について

### ●松浦 富子(会派 公明党鳴門市議団)

#### 1. 超高齢化対策について

- (1) 地域包括ケアシステムの構築に向けた体制整備について
- (2) 「介護困り込み」について

#### 2. 防災・減災対策について

- (1) 情報分析チームについて
- (2) 特別警報について



### 《傍聴にお越しく下さい》

- ・本会議…議場  
(受付:東側階段より3階議場入口)
- ・委員会…委員会室  
(受付:中央階段またはエレベーターで3階議会事務局)

当日、傍聴券をお渡ししますので、受付にてお名前、ご住所、年齢をご記入ください。職員がご案内いたします。

答 繰入金を活用する予算要求枠の再設定を実施する方針であり、

は可能か。




エアコンが整備された教室で快適に勉強できる

答 スマートフォン・携帯電話の適切な利用方法について、夏休み前に市内小・中・高等学校へ啓発ポスターを配布し、道徳教育においては、児童・生徒の発達段階に応じた指導により、基本的な能力として情報モラルやマナーの習得を目指していきたいと考えています。

問 ここ数年で競艇事業の累積赤字は解消されて、平成21年度から5000万円を安定的に一般会計に繰り入れている。この繰入金は現在までに総額900億円を超えているが、これからの時代は、できれば子どもたちのために使うことが大切ではないだろうか。そこで、今後も続くのであれば、年間5000万円の繰入金を財源として、市内の小

### ◆競艇事業の繰入金金の活用方法について

### 代表質問



会派 郷土  
ひがしだに しんじ  
東谷 伸治

### ◆スマートフォンの利用について

問 小中学生のスマートフォンの所持が急速に進んでおり、所持率は50%を超えてきている。その結果、友達とのLINEでのやりとり時間が奪われたり、課金システムのゲームアプリでお金を使ったりといった様々な問題がある。これに対し、午後9時以降は保護者が子どもの携帯電話・スマートフォンを預かるといった利用制限を呼びかける自治体もあるが、本市の指導方針は。

活用する事業のさらなる選択と集中に取り組み、未来をつくる成長戦略などに積極的に活用していきたいと考えています。

### 代表質問



会派 創心クラブ  
あき おか よしろう  
秋岡 芳郎

#### ◆人口減対策における市長の政治姿勢について

**問**特に地域経済の観点から、魅力ある地域づくりについての鳴門市の具体的な取り組みと人口減対策の方向性は。

**答**住み続けたい、訪れたい、住んでみたいと感じる人を増やし、町に人を集め、地域が活性化している将来像を目指します。そのためには特に、若者や子育て世代の感覚や考えを聞くことが重要であり、今年度は大学生による事業評価事業や徳島大学との共同事業を行い、本市のイメージアップにつながるヒントを得るための事業のほか、鳴門駅周辺やポートレース鳴門のまちづくりエリアの拠点整備を研究します。さらに産業振興や子育て環境を拡充し、住環境施策を充実させます。

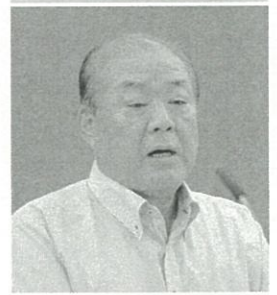
**問**若者や女性が元気に働ける仕事づくりについて、特に神山町のうなサテライトオフィスや美波町のコールセンターのような事業を鳴門市に誘致できないか。

**答**鳴門市としても、雇用の確保や定住人口の増加、地域経済全体への波及効果を得られるものと認識しています。今後も積極的に取り組む中で、鳴門市独自の形態やメリットを打ち出していく必要があることから、県内のサテライトオフィス関連事業に関わる方に市内各地を見ていただき、今後の具体的な取り組みなどについて意見交換を行っています。コールセンター進出については、対象となり得る物件の把握に努めているところです。



ジュニアエコノミーカレッジで起業企画して、実際に店員を体験

### 代表質問



会派 有志会  
たに さき とおる  
谷崎 徹

#### ◆市民の安心・安全について

**問**老朽化した危険な空き家の除去を進めるため、除去費の一部を補助する事業が、平成26年4月より始まっている。この対象となる物件の三つの条件のうち、倒壊した場合に前面道路を2分の1以上閉塞するおそれがある物件という条件は、改めるべきだと思いが。

**答**道路の閉塞要件は、県が独自に設定している補助要件なので、今後は道路閉塞のおそれのない老朽危険空き家についても県の補助対象となるよう要望していきたいと考えています。

**問**老朽危険空き家の除去が進まない一因に、取り壊すと税の特例措置が受けられなくなり、固定資産税が一気に高くなることが挙げられている。市として、地方税である固定資産税の一定期間の軽減措置などを考える必要があるのでは

ないか。  
**答**国においては、住宅用地の固定資産税を軽減する特例措置を見直す方向で検討が進められていることから、2015年の税制改正や空き家対策を注視し、適切な対応をしていきたいと考えています。

**問**災害復旧や土地取引の流動化のために地籍調査を再開する必要があるのではないか。

**答**災害復旧だけでなく、土地取引の円滑化、土地にかかるトラブルの未然防止などのメリットもあることから、課題の検証を行い、実施体制づくりについて、調査研究していきたいと考えています。



固定資産税の増加が空き家撤去の障壁になっている

### 代表質問



志 俊作  
公明党 鳴門市議員  
松浦 富子

#### ◆福祉行政について

**問** 来年4月からの新制度「子ども子育て支援新制度」に向けて、どのように取り組んでいくのか。

**答** 市では、平成27年度から5か年を計画期間とする鳴門市子ども子育て支援事業計画の策定に取り組んでいます。策定においては、学識経験者や福祉関係者、公募市民等で構成される鳴門市児童福祉審議会を設置し、計画の調査審議機関としての役割を担っており、平成25年度は4回、平成26年度はこれまでに3回の審議を重ねています。

今後、スムーズな制度移行に向けて、市民への周知、説明としては、広報なるとへの掲載やテレビ広報、市公式ウェブサイトによる周知も予定しています。市としては、第六次鳴門市総合計画に掲げる「子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なる」との実現に向け取り組んでいきます。

#### ◆教育行政について

**問** 教育振興計画の策定には様々なプロセスがあり、現時点での明確

な方向性は決定していないが、今後どのようなスケジュールで計画を策定していくのか。また、どのような手法で市民の声を取り入れていくのか。

**答** 今後は、保護者へのアンケート調査研究を行い、今年度中に学識経験者や関係団体の代表者等で構成する教育振興計画審議会を設置する予定です。来年度は審議会での審議とあわせて園長会・校長会での意見聴取や地域説明会、議会への説明、パブリックコメントの実施などを経て、来年度末には審議会より答申を得た後、教育委員会で決定したいと考えています。

市民の意見を反映させる手法については、幼・小・中学校の保護者へのアンケートから、教育にかかる現状やニーズ、意見を把握する予定です。また、園長会や校長会など関連団体の意見やパブリックコメントを素案に反映させていきたいと考えています。



教育振興計画に市民の声を

### 代表質問



松浦 富子  
公明党 鳴門市議員

#### ◆超高齢化対策について

**問** 高齢化社会の進展を見据え、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続ける体制を整備するために、地域包括ケアシステムの構築についての今後の方針は。

**答** 今後は、市民のニーズや事業者の意向を把握するとともに、現在策定中の第6期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定委員会等の中の意見から、必要なサービスの種別や量について検討していきます。

**問** 平成26年8月20日の徳島新聞に、地域包括支援センターの受託法人の介護困り込みの記事が掲載されていたが、鳴門市の現状は。

**答** 利用者の生活状況からの判断や地域に事業所が少ないなどの状況もあり、本市において過去に同一法人のサービス利用や居宅介護支援事業所への引き継ぎ状況の調査

を実施しているところですが、利用者の意にそぐわない困り込みと判断できる事実はなく、適切に運営できていると考えています。

**問** 地域包括支援センターは厳格な公平性が求められるが、今後のあり方について。

**答** 平成27年4月の制度改正により、地域包括支援センターは地域包括ケアシステムの構築において中核的な機関としての役割を担うことになり、地域包括支援センターの業務量に応じた配置や機能強化を目的として、5ヶ所のセンター間の連絡調整や後方支援など、地域包括支援センターの総括機能を持つ基幹型地域包括支援センターの設置を進めることとしています。



地域包括支援センター職員による老人クラブでの血圧測定

# 個人質問

## ●三津 良裕

### 1. 防災対策事業について

- (1) 津波災害について
- (2) 地震災害について
- (3) 台風等による風・水・土砂災害について

### 2. 福祉行政について

- (1) 子育て支援について



## ●山根 巖

### 1. 教育行政について

- (1) 安全教育について
- (2) 体育施設について
- (3) キャリア教育について



## ●叶井 克典

### 1. 防災対策について

- (1) 台風11号時の対応の反省・分析について
- (2) 台風11号の被害について



### 2. 女性の社会進出について

- (1) アベノミクス成長戦略の具体的政策目標について

## ●上田 公司

### 1. 防災について

- (1) 災害対応について
- (2) 危険箇所の対応について
- (3) 体制づくりについて

### 2. 鳴門市スポーツ推進計画について

- (1) 鳴門市スポーツ推進審議会について

### 3. 観光行政について

- (1) 観光振興について

## ●川田 達司

### 1. 災害対策について

- (1) 農業用ため池の耐震化について
- (2) 農業用水路の改修について
- (3) 「ため池」ハザードマップの作成について

### 2. 消防行政について

- (1) 消防分団への支援策について

## ●浜 盛幸

### 1. まちづくり行政について

- (1) 空き家対策について

### 2. 福祉行政について

- (1) 聴覚障がい者対策について



## 個人質問



三津 良裕

### ◆防災対策事業について

**問** 最近、局地的な豪雨による災害や大型の台風、暴風雨により多大な被害が発生している。鳴門市は地震・津波、台風等による災害について、どのような被害想定をしているのか。

**答** 地震・津波については、徳島県が南海トラフ巨大地震被害想定を公表しています。台風については、洪水のおそれのある河川による浸水被害、急傾斜地等による土砂災害が広範囲あるいは住宅密集地域で発生した場合の具体的な被害想定は示すことができません。

**問** 東日本大震災から3年半が経過し、いまだに避難者が24万5622人いる。多くの死者や行方不明者が出て、また家が全壊・半壊して、いまだに多くの方が避難所生活を送っている。鳴門市では、被災した市民が災害前の生活に戻るために、どのように対応するのか。

**答** 地域防災計画や地震津波対策推進計画に基づき、災害復旧を図っていきます。

**問** 災害によって住居に流れ込んできた土砂や大きい石の撤去など、生活再建に向けて、どのような支援制度があるのか。

**答** 被災者生活再建支援法に基づき支援したいと考えており、市役所内に相談窓口を開設して、再建に向けての相談に応じていきます。



市内各所が急傾斜地崩壊危険箇所に指定されている

### ◆福祉行政について

**問** 子どもをしっかりと育てるために、父子世帯の経済や日々の家事、教育などに対して、どのような支援策があるのか。

**答** 平成26年10月の法律改正で父子家庭の支援が拡充されたが、現在本市には母子・父子家庭に対するひとり親家庭等医療費助成事業、家庭生活支援員の派遣、自立支援給付事業、父子福祉資金の貸付などを行っており、福祉事務所で生活や仕事などの相談に応じています。



個人質問



かない かつのり  
叶井 克典

◆防災対策について

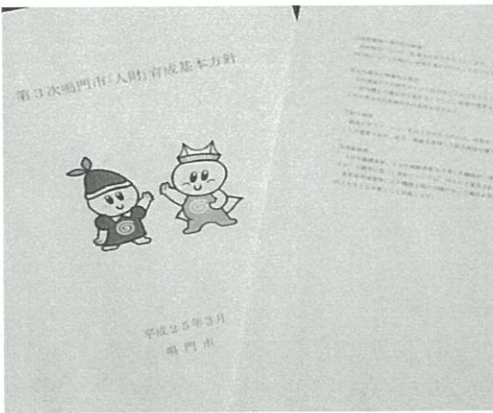
問平成26年8月の台風11号は、多大な被害をもたらしたが、その時の対応について、災害対応マニュアル等の検証・点検を行ってもらいたい。

答本市における災害対応は、鳴門市地域防災計画や鳴門市避難勧告等の判断・伝達マニュアルなどに基づき行っています。今回の台風11号で大雨による避難勧告を発令し、市内全域に多くの避難所を開設するのは、本市で初めてのことであり、情報の伝達方法や避難所開設について様々な課題が生じたことと認識しています。今回の災害対応について検証し、改善できるものは速やかに改善を図るとともに、地域防災計画や災害対応マニュアルについても再点検を行います。

◆女性の社会進出について

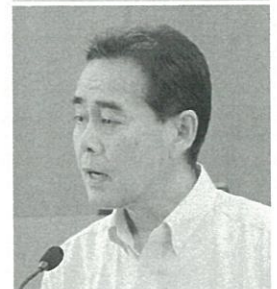
問アベノミクス成長戦略が掲げる「女性が輝く日本の実現」に向けての政策目標を、本市としてどのようにとらえているか。

答地方分権の推進や多様化する市民ニーズに対して、限られた人材の中で最大限のサービスを提供するためにも、女性の視点による柔軟な発想を生かした施策の展開を図るなど、今後女性の活躍は不可欠な要素と認識しています。第3次鳴門市人財育成基本方針においても、女性職員の積極的な登用を図ることを重点事項の一つと位置づけ、その実現に向け取り組んでいます。



第3次鳴門市「人財」育成基本方針

個人質問



うえ だこうじ  
上田 公司

◆防災対策について

問土砂災害警戒区域等に含まれる避難所について。

答災害時の避難所施設142カ所のうち土砂災害警戒区域内に17カ所、そのうち6カ所の避難所が特別警戒区域にあります。また公立の幼稚園・小・中学校計40校のうち、13校が土砂災害警戒区域に、そのうち3校が特別警戒区域に含まれています。

問阿波神社周辺の冠水について。

答冠水時には対策会議で調査を行い、問題を把握し対応することで被害の軽減に努めています。今後池谷地区の道路冠水被害を最小限に食い止めるよう努めていきたいと考えています。



冠水した阿波神社周辺

◆鳴門市スポーツ推進計画について

問推進計画策定後も常設の事務局を設けて、常に各委員への情報発信や意見集約を行い、的確に反映されるようバックアップしてはどうか。

答今後も審議会を中心とする推進体制において、関係機関や団体との連携をより一層深めながら、着実なスポーツの推進を図っていききたいと考えています。



スポーツ推進審議会の様子

◆観光行政について

問平成27年は大鳴門橋開通30周年など記念の年となることから、自転車やマラソンなどの記念イベントを行ってみたいかどうか。

答大鳴門橋開通30周年は観光客誘致の絶好の機会であると考え、この機会を逃すことなく、関係団体等との連携を図りながらイベントなどに積極的に取り組んでいきたいと考えています。

個人質問



やまね いわお  
山根 巖

◆教育行政について

**問**子ども達を事故や事件から守るために、どのように取り組んでいるのか。

**答**事故防止については、通学路の危険箇所

に警告看板を設置するなど、改善に向けた通学路安全推進事業を推進しています。また、スクールガードリーダーによる下校時間の見守りや、地域の方々による青色回転灯を装備しての防犯パトロール、教育委員会による市内全域のパトロールも行っています。今後も地域の方々や関係機関と緊密な連携を取りながら、子ども達の生命・身体を守ることを最優先に努めていきます。



新たに寄附され活躍中の青色防犯パトロール車

**問**子ども達が夢を実現するためのキャリア教育（職場体験）について、どのような支援を行っていくのか。

**答**職場体験の受け入れ先企業の情報

をデータベースシステム化した県の取り組みを活用し、愛知県瀬戸市の取り組みなども参考にしながら鳴門市が経済活性化施策として取り組んでいるエコノミックガーデニングと提携したシステムなどを検討していきます。

**問**小・中学校の水泳の授業のみならず、市民の健康づくりや体力づくりのため、一年中使用可能な温水プールも複合した総合的スポーツセンターを建設してはどうか。

**答**鳴門市スポーツ推進審議会の答申を踏まえ、いつでもどこでも誰でもいつまでもスポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会の実現を目指す。総

指し、総合的なスポーツ施設の整備について研究していきます。



誰もが気軽にスポーツを楽しめる施設を

個人質問



かわた たつじ  
川田 達司

◆農業用ため池の耐震化について

**問**老朽化した農業用ため池の耐震化を実施すべきと考えるが、その取り組みについて。

**答**県営事業の震災対策農業水利施設整備事業により一斉点検が実施

され、本市における調査対象池18箇所について調査の結果、耐震性を有していないため池については、補助事業等を活用した耐震事業の実施について、県や管理団体と協議の上、進めていきます。

◆ため池ハザードマップ作成について

**問**ため池決壊による水害から人的被害を防止するための、ため池ハザードマップを作成すべきと考えるがその取り組みについて。

**答**ため池の老朽化などで大規模な

水害が予測されることから、被害予測を地図上に図示するハザードマップ作成は、住民の円滑な避難に役立つと考えます。市内に点在するため池の現状などを徳島県の協力を得ながら把握し、その作成に向け調査検討を進めていきます。



8月10日の台風11号で満水状態となった大麻町のため池

◆消防分団への支援策について

**問**土砂災害での消防分団活動に欠かせない土のう砂等の「補給支援」の見直しについて。

**答**近年の想像を超える災害発生に対し、直近の学校等の砂場を活用する現在の方法では、緊急性の観点や身体的に大変な作業となることから、新たな支援に取り組む必要があると考えています。今後は地域環境や各分団の要望等を十分確認し、柔軟性を発揮しながら、効果的な支援を行いたいと考えています。

**問** 危険な空き家の撤去や、その有効利用としてサテライトオフィスや古民家再生など、地方の活性化、人口減対策なども含めてどのような対策を推進するか。

**答** 老朽化して危険な空き家を除却することは、安心・安全なまちづくりのために重要です。

周辺住民から相談があれば、所有者等に適正管理を依頼するとともに、空き家の現状を認識してもらうため写真やチラシを送付するなどの対策を講じています。また、災害時に倒壊し避難路をふさぐおそれのある危険な空き家の除却費用の一部を負担し、自主的に撤去を行う所有者への支援を行っています。空き家の有効利用については、自治振興会や民間企業と連携しながら、地域の実情に応じた空き家の活用策を検討します。

個人質問



◆まちづくり行政について

◆福祉行政について

**問** 人工内耳装置の装着費用に健康保険が適用となり装用者の負担額は軽減されたが、一生使い続けるとなると、かなりの高額な費用がかかる。本市として補助への取り組みは。

**答** 人工内耳装置の維持管理にかかる費用は地域生活支援事業補助金の対象になっていませんが、市町村単独の助成事業として、乾電池やスピーチプロセッサの買い替えにかかる費用を助成している自治体も近年増えてきています。聴覚障がい者のコミュニケーション支援の観点から必要な施策であり、今後具体的な補助のあり方について検討していきたいと考えています。



聴覚障がい者への支援拡充を目指して

● 議会広報番組【12月1日(月)~15日(月)放送】 ●

内容	時間
①平成26年第3回定例会	■デジタル111ch、アナログ9ch (8:00~/23:00~)
・定例会の審査概要	
・一般質問	■デジタル112ch、アナログ23ch (12:00~/16:00~/21:00~)
・各常任委員会・分科会の審査概要	
・採決結果	■デジタル122ch (7:00~/18:00~/22:00~)
②平成25年度決算審査	
・平成25年度決算の概要	
・予算決算委員会各分科会の審査概要	
③市議会からのお知らせ	※生放送・特別番組により放送されない場合があります。

★過去の議会だよりも見てみたい! そんな方は...★

58号(平成19年3月1日発行)以降の議会だよりは市議会ウェブサイトからも見ることができ、76号からは音声でもお聞きいただけます。

その他、各議会・委員会の中継・録画映像や市議会議員の名簿、組織構成、交際費の支出状況なども公開しておりますので、どうぞご覧ください。

鳴門市議会ウェブサイト

<http://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>



次の定例会の開催予定

平成26年第4回定例会は、11月27日から12月19日までの23日間の予定です。

11月27日(木)	第4回定例会 開会	☑
	予算決算委員会(議案説明)	☑
28日(金)	一般質問通告締切	
12月3日(水)	一般質問(会派代表質問)	☑
4日(木)	一般質問(個人質問)	☑
	議会運営委員会	
5日(金)	一般質問(個人質問)	☑
8日(月)	総務文教委員会	☑
9日(火)	生活福祉委員会	☑
10日(水)	産業建設委員会	☑
11日(木)	特別委員会	☑
	予算決算委員会(質疑・採決)	☑
15日(月)	議会運営委員会・全員協議会	
16日(火)	本会議(議案採決)	☑
19日(金)	第4回定例会 閉会	☑

☑:インターネットで中継・録画配信  
☒:ケーブルテレビで中継・録画放送

## …平成25年度の決算を審査・調査しました…

5日間にわたり、予算決算委員会および分科会を開催し、平成25年度決算に関する14議案について審査・調査しました。

委員会での審査の中で出た委員の意見・要望やそれに対する市の担当課からの答え、説明を抜粋し、分野別に紹介します。

### ■ 教育・文化

★：委員からの意見・要望

●：市の担当課からの答え・説明

#### 【教 育】

●第一小学校と堀江北小学校には障がいのある子どものため多目的トイレと階段の椅子式昇降装置、また鳴門西小学校には準備室等を改造してトイレを設置した。

★市内の各幼稚園・小中学校のトイレについて、入り口が男女別々でないところや洋式化できていないところがあり、現在、順次教育施設の耐震化を進める中で、校舎の建て替えや耐震化工事とあわせてトイレ整備を行った学校と未整備の学校との差が顕著になっており、現場で働く教職員の職場環境としても状態がよくない。

★教育施設のトイレ整備は優先的・個別に進めていくべきであり、そのためにも具体的な年次計画等を作るべきである。



●教育施設のトイレの洋式化の必要性は認識しており、計画的に進めていくべきとは考えている。現在、新学校給食センター建設や第一中学校の改築工事などの大規模事業を控えていることから、財政状況との兼ね合いも考えながら、少しでも早く解決できるようにしたい。



\* \* \*

●平成25年度においては、学校図書館サポーターを、市内の12学級以上の小学校に1校1名の計5名、中学校は1名を配置した。

★学校図書室と図書館との連携の観点で、より流動的かつ活発に活動できるよう、図書館業務の委託者との提携のあり方を見直してはどうか。



★現在、学校図書館サポーターが配置されるのは大きな学校だが、サポーターがいる学校は子どもたちが本を読む機会が多くなっているため、ぜひ小さい学校にも配置してほしい。

\* \* \*

●預かり保育について、以前は就労証明を提出してもらっていたが、預かり保育が学習指導要領の中に位置づけられ、現在は利用を就労者に限定せず、育児ストレス等による利用も受け付けている。



★預かり保育の安易な利用は職員の負担増にもつながることから、申請時に就労証明等の提出も求めているかどうか。

#### 【文 化】

●福永家住宅について見学の依頼があった場合には、担当課職員や観光ボランティアガイドの方が対応。受入人数は様々だが、学校単位であれば1回につき30人程度。今年度は7月6日に一般公開を実施し、約450人が訪れた。



★文化財の保護の観点からも施設整備は必要であり、また観光の面でも利用できる施設であるため、そうした点をふまえた活用方法を考えてほしい。

\* \* \*

★ドイツへの青少年派遣事業については定期的な事業として継続してほしい。

★外国からの訪問者も使用できるようにドイツ館のトイレを洋式に改修してほしい。



## ■ 社会福祉

★：委員からの意見・要望

●：市の担当課からの答え・説明

### 【福祉・健康】

●自殺予防対策事業として、平成25年度には2回、自殺予防対策の講演会などを鳴門教育大学で開催した。

★経済的・健康的な理由で亡くなる方も多く、開催場所について、もっと気軽に訪れやすい場所で開催してはどうか。

\* \* \*

●女性・子ども相談の平成25年度実績について。女性については4,647件、子どもについては1,713件だった。

★女性・子どもの相談件数が非常に多く、担当課としてこれから非常に主要な仕事となる。積極的に分析や



対策を行うとともに、刑事事件などに発展することも考えられるので社会福祉士など専門的な人がより必要になってくるのでは。

\* \* \*

●平成25年度末において約600の生活保護世帯があり、平成25年度における生活保護の申請件数は83件、平成24年度は117件だった。

\* \* \*

●発達相談については10カ所の保育所を医師、臨床心理士、保健師が巡回して子どもの行動観察を行い、気になる子どもについては保育士に対応の仕方を伝え、保護者からも家庭で気になることなどの相談を受けている。

★保護者は1回だけの相談に限らず長期の発達相談を必要としており、保育士についても長期的なビジョンに立った支援計画を作成して幼稚園へとつながるようにしてほしい。



\* \* \*

★国においては児童クラブの対象を小学3年生から6年生まで引き上げ、1クラブあたりの人数も40人以下としており、2つに分割しないといけない児童クラブも出てくると思うが、今後も続けていかなければ

ならない事業なので、市においてもよく検討してほしい。

\* \* \*

●老人クラブについては、平成25年度末で会員数は約3,200名。地域性などもあり、なかなか老人クラブ活動に参加できない場合がある。



★行政としては1カ所に集まって老人クラブのイベントをすることが理想的だと思うが、地域内で高齢者同士が交流できていない現実があり、これからはもっと地域の中できめ細かな事業を多く実施するようにしていかなければ、老人クラブの存続自体が難しいのでは。

### 【介護・保健】



★保険料の口座振替は確実に収納できる方法の一つであり、振替率を上昇させるようなメリットを検討してほしい。

★国民健康保険の加入者である農業者や漁業者などの一次産業従事者が全額自己負担で人間ドックを受診することは負担が大きく、市民からの要望が多いため、受診者の枠をもっと広げられるように検討してほしい。

\* \* \*

★緊急通報装置については、平成25年度末で146名の方が利用しており、今後ますます老老介護が増加するため、このようなシステムを普及させる必要がある。

\* \* \*

●認知症理解のための普及啓発については、様々な観点から広めていくことを考え、学童期からの認知症に対する理解を深めるため、平成26年度から順次、各小中学校で認知症サポーター養成講座を開催する。  
★市内の事業者へも講座の開催などの働きかけを積極的に行ってほしい。

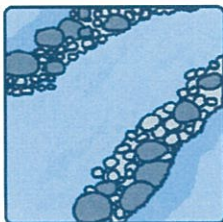
## ■ まちづくり

★：委員からの意見・要望

●：市の担当課からの答え・説明

### 【土 木】

★四国横断自動車道の整備に伴い、川が土砂で埋まり、また、農業用水に雨水が流れ込んでくるという問題が出ていますので、関係団体と河川的环境整備や、地元の農業者の負担軽減についての協議を行うべきである。



### 【下 水 道】

★加入の遅れが使用料の将来負担率にも影響してることからも、当初に加入した人との助成金額の差を勘案しながら、加入促進策を考える必要がある。

★今後の事業計画や見直しについては、協議会等を設置し、検討するべきであり、工事が遅れている原因などについても、市民に説明するべきである。

## ■暮らしを守る

★：委員からの意見・要望  
●：市の担当課からの答え・説明

### 【防災・災害】

- 地震等災害対策普及啓発事業について、平成26年3月にはフォーラムやシェイクアウト訓練を実施。
- ★災害への対応を徹底させるため、より多くの人に訓練などに参加してもらえるよう努めてほしい。

\* \* \*



- ★危機管理の意識が非常に高まっており、国も様々な計画等に力を入れているが、想定外の事態にも対応するため、これからは自分の命を守るための施策として、ソフト面の整備を重点的に進め、それらを基礎としてハード面を考えていくべき。

### 【消 防】

- 地域防災力の向上をいかに達成していくかが課題であると捉えており、消防分団詰所の耐震化、消防車両の高性能化等のハード面、消防団員の加入促進等のソフト面の両面がある。
- ★消防団は地域防災上なくてはならない組織だが、近年の団員のサラリーマン化等により活動に制約が生じてきている。地域のことは地域でという意識の啓発と、基準団員やサポーター的な団員、様々な団体等との組み合わせ、また地域の分団ができることと消防本部ができることのすみ分け等により、普段から多様な形で対応できるようにしていく必要があるのでは。



- 消防団員については、後方支援的な機能別団員の募集や少年消防クラブの全市への拡大、団員の処遇や保障等について検討していく。

\* \* \*

- 消防団の車両は、年次的に更新していくこととしており、国の制度等を活用しながら、年に3台ずつの更新を予定している。

### 【住宅耐震化】

- 木造住宅耐震診断・改修支援事業について。個別訪問した時に市民からは、耐震改修をする資金が足りないため耐震診断を受けても仕方ないという意見や、後継者がいないので耐震改修はしない等の意見があった。



- ★耐震改修が進まない結果を受けて、行政として耐震改修がしやすいような制度設計を行うことが必要であり、耐震改修費用

を、市が低金利で貸し付けるような制度を考えてみるなど、事業目標を達成するための検討をさらに進めてほしい。

- ★簡易耐震リフォーム支援事業については、平成25年度の当初予算に比べて決算額が低いが、平成26年度の当初予算にも同額を計上しており、実績に伴った予算編成をするべきである。

## ■環境・衛生

★：委員からの意見・要望  
●：市の担当課からの答え・説明

### 【環境・衛生】

- ★ごみステーションを利用している地域において住民環境を考慮し、ごみステーションをより多く配置してほしい。
- ★市民と具体的な意見交換を行うことで地域の実情を把握し、ごみ収集体制のあり方について検討してほしい。

\* \* \*

- ★民間トイレの設備の質が高まっている現在、公衆トイレについてもチェックを厳しくする必要があるのではないかと。



\* \* \*

- 土地所有者の管理方法による周辺住民への迷惑行為に対して、所有者に改善が見られない場合、雑草

の苦情等については除草の協力を所有者に通知しており、約8割の方が対応してくれているが、通知に応じない所有者に対しては今後、解決策を検討していく必要がある。

- ★高齢化や耕作放棄地の増加が進む中、環境問題という面で新たな相談窓口を設置してほしい。
- 個人の財産は個人管理が前提であるため行政が対応できる範囲は限られているが、市としても社会情勢をふまえ、対応方法を検討していく。

\* \* \*

- ★市有墓地でトラブルが起こっており、その適正管理について市も取り組むべき。

- 今年度も土地をめぐる相談に対し、環境政策課等が間に入って調整したこともあり、地元任せではなく市も所有者として今後関わっていききたい。

## ■ 産業・観光

★：委員からの意見・要望

●：市の担当課からの答え・説明

### 【商 工】

●企業誘致に関して、鳴門市には「なるとソフトノミックスパーク」と「鳴門複合産業団地」の2施設があるが、現在、すべて売却および賃貸となった。

★ソフトノミックスパークは今後の維持管理が問題であり、工業団地内で起こった問題、周辺とのトラブル等の窓口として企業全体で協議会を作り、団地内の清掃活動も企業自ら行ってもらうようにすべきである。

\* \* \*



●100円商店街はこれまでに3回開催しているが、開催ごとに新しいイベントを追加するなど店主が熱意を持って行っている。

●ジュニアエコノミーカレッジは小学生を対象とした事業で、2年連続で参加した児童もあり、

将来の鳴門市の起業家を育てるという意味でも規模を拡大しながら続けていきたい。

●クリスマスマーケットは商工会議所の青年部が中心となって行っており、今後、規模を拡大したいので、市からも何らかの補助をしていきたい。

\* \* \*

●観光農園の集客を活用した地域内回遊促進と新商品開発事業については、起業支援型であり、起業後10年以内の企業に対して、その成長を促すため大津

町の観光農園に委託しており、観光農園を訪れる多くの人々に鳴門市西部の観光もしてもらうための宣伝と、企業自身の成長を促進するための事業費である。

### 【観 光】

●姉妹都市関係費については、中国の姉妹都市からの訪問がなかったため未執行となった。

★中国・青島市とは現在、特別な交流はないようだが、今までの交流が無駄にならないよう関係を考えてほしい。

### 【農林水産】

●公設地方卸売市場事業特別会計への繰出金については、特別会計の歳入において、公設地方卸売市場施設使用料の不足分を一般会計からの繰出金で補填している。

★公設地方卸売市場事業特別会計の歳入に対して、場内清掃・塵芥処理負担金と長期債の元金および利子償還金が歳出全体の4割近くを占めていることは、事業として問題がある。

★公設地方卸売市場の運営について、朝市、夕市のあり方も含め、市場を活性化していくために、運営の仕方を考えてほしい。



## ■ その他

★：委員からの意見・要望

●：市の担当課からの答え・説明

### 【選 挙】

●投票時間が2時間延長された効果について。有権者の立場から考えると、遅い時間まで空いている方が利便性が高いことから現行体制が適当と考えているが、この件は全国の選挙管理委員会の会議において毎回のように議題に上がっており、全国の団体がそれらを取りまとめて国に掛け合っている。



### 【財 政】

●今後の市の財政見通しについて。平成26年9月の試算によると、実質公債費比率は一時17%まで上昇し、将来負担費比率については、職員数の削減による退職手当負担見込額の減少も今後は見込めず、支払財源となる基金も減少することから、今後、平成

27~29年度までは上がると想定される。平成30~32年度頃には、大口の既発債や退職手当債も全て償還が完了することから、公債費も平成28年度を境に減少する見込み。

★今後、人口減により歳入も減少するということ踏まえた上で、歳入を増やすための施策が必要。財源も限られており、ある程度はやめていく部分などの調整も必要となってくることから、市の職員や議会、市民に対して本市の財政の現状を説明し、全体の認識と理解のもとで進めていくべき。

\* \* \*

●庁舎整備基金の残高は平成25年度末で7億4,000万円あまりで、この利息を積み立てている。

★市役所本庁舎は老朽化が著しいが、鳴門市の顔になるので、立て替えに向けて、この積立金を用いてはどうか。

# 市民の広場



鳴門市議会では、市民の皆さんが議会をより身近に感じられるような議会だよりをめざして、日々取り組んでおります。  
本紙をお読みになり感じたことや疑問点などがありましたら、議会事務局まで手紙・ファクス・Eメール等でおよせください。

## 募集中



- ① 議会だより紙面について（感想、ご要望など）
- ② 議会のしくみや専門用語についての疑問  
様式は問いませんが、300字以内をお願いします。
- ③ 鳴門市で直近3ヶ月以内に撮影した写真  
カラープリントで鳴門市に関するもの、できれば季節感のあるものをお願いします。

※内容等についてお問い合わせさせていただくことがありますので、住所・氏名・年齢・性別・電話番号をご明記ください。（紙面には年齢・性別のみ掲載させていただきます。）

※紙面の都合で掲載できない場合がありますので、ご了承ください。

※投稿していただいたものは返却できません。

※写真は紙面に掲載する際、編集の過程でトリミング等の加工をすることがありますのでご了承ください。

✿宛 先✿ 鳴門市議会事務局

〒772-8501 徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170番地

☎(088) 684-1234 ☎(088) 684-0814

✉gikai@city.naruto.lg.jp

… 市民の皆さんのご応募をお待ちしております …



## ～編集を終えて～

もういくつ寝ると、お正月♪

来年1月1日は太陰暦（旧暦）の11月11日にあたり、1が6つ揃うのは19年ぶりだそうです。年始めから、何だかおめでたい気持ちになりますね。

ちなみに海外では、旧暦のお正月を大切な祝日として盛大に祝う国も多く、中国の春節は特に有名ですね。

お正月の形はいろいろですが、1年間の幸せを願うことはみな同じです。平成27年も、皆さんにとってよいお年となりますように。

## 〈議会広報委員会〉



委員長：上田 公司 副委員長：圃山 俊作  
委員：大石美智子・川田 達司・佐藤 絹子  
浜 盛幸・東谷 伸治・山根 巖

## 議会活動(平成26年9月～11月)

### 9月

- 1日 市総合防災訓練  
防犯パトロール車贈呈式・出発式
- 3日 第3回定例会日程協議
- 4日 徳島県戦没者追悼式
- 5日 滴翠クラブ9月拡大例会（徳島市）
- 8日 ハンセン病回復者1泊里帰り事業における  
交流会・懇親会  
議会運営委員会  
総務文教委員会現地視察（鳴門市第二中学校）
- 12日 議会広報委員会
- 15日 市敬老の日のつどい
- 17日 第3回定例会開会  
予算決算委員会  
全員協議会
- 19日 日本モーターボート競走会やまと学校  
第115期選手卒業式・卒業記念競走（福岡）  
一般質問（～26日）
- 24日 議会運営委員会
- 25日 総務文教委員会
- 29日 予算決算委員会第1分科会
- 30日 第149回徳島県市議会議長会定期総会（美馬市）

### 10月

- 1日 生活福祉委員会  
予算決算委員会第2分科会  
赤い羽根共同募金・街頭募金運動
- 2日 産業建設委員会  
予算決算委員会第3分科会
- 7日 予算決算委員会
- 8日 議会運営委員会  
全員協議会  
議会運営委員会  
市小学校陸上運動記録会
- 9日 第3回定例会閉会  
予算決算委員会  
滴翠クラブ10月例会（徳島市）  
予算決算委員会 各分科会（～17日）
- 15日 第20回リユネブルク市親善使節団歓迎夕食会
- 17日 市公設地方卸売市場 市場まつり
- 18日 第13回鳴門のまつり
- 19日 第12回子どものまちフェスティバル  
鳴門市・リユネブルク市姉妹都市盟約締結  
40周年記念式典
- 22日 予算決算委員会  
議会広報委員会  
市うずしお運動会
- 23日 第161回瀬戸内海地区議会競艇連絡協議会  
臨時総会（香川）
- 24日 新宿区議会（東京）委員会視察来庁  
第65回四国市議会議長会理事会（香川）
- 25日 市障がい者スポーツ・レクリエーション大会
- 28日 紋別市議会（北海道）委員会視察来庁
- 29日 印西市議会（千葉）委員会視察来庁
- 30日 市婦人連合会大運動会  
全国広域連携市議会協議会第63回理事会（東京）

### 11月

- 5日 全国市議会議長会第97回評議員会（東京）  
苫小牧市議会（北海道）委員会視察来庁
- 7日 大麻福祉のまち50周年記念式典
- 11日 第4回定例会日程協議  
議会広報委員会  
滴翠クラブ11月例会（徳島市）
- 12日 全国競艇主催地議会協議会第142回役員会・  
第124回臨時総会（東京／～13日）
- 17日 議会広報委員会
- 19日 高知市議会（高知）会派視察来庁
- 20日 議会運営委員会
- 26日 市優良従業員表彰式
- 27日 第4回定例会開会
- 28日 議会だより89号配布
- 29日 撫養幼稚園創立100周年記念式典  
「鳴門海峡」歌碑除幕式  
市のびのびげんきまつり

※本紙はカラーユニバーサルデザインに配慮し作成しています。